

令和5年3月13日

南風原町長 赤嶺正之 殿

南風原町社会福祉協議会
会長 前川義美 殿

南風原町地域福祉推進計画評価委員会
委員長 上地 武昭

第二次南風原町地域福祉推進計画の評価について（答申）

令和5年1月31日付け、南こ第2770号、南社協第987号で諮問のありましたみだしの件につきまして、本評価委員会で慎重に審議を重ね、計画の進行管理に関すること及び計画の施策について評価の確認を行いました。

別紙意見書等を添えて答申いたします。

（別紙）

- ・意見書
- ・第二次南風原町地域福祉推進計画 令和3年度事業・進捗状況報告
- ・第二次南風原町地域福祉推進計画 令和3年度事業・活動評価票

意見書

評価委員会において各事業を確認したところ、行政と町社会福祉協議会が連携し施策展開を図っており一定の成果がありました。しかしながら、事業の取り組みに弱かった点もあることから、今後はその対応に取り組むと共に、現状で高評価の事業についても更に内容を向上させるなど積極的な推進が重要であります。

またこの計画は行政が策定した「地域福祉計画」と、町社会福祉協議会が策定した「地域福祉活動計画」との一体的計画であり、その推進にあたっては住民等の参加を得て、行政・町社協の施策と地域主体の活動・行動をより密接に連動させて取り組む必要があります。今後の計画推進にあたって下記の意見に十分に配慮し「ちむぐくるで笑顔あふれる福祉のまち南風原」の実現に向けて、関係機関とも連携を密にし、事業・活動の着実な推進を図るよう要望いたします。

- 1 本計画の推進にあたっては、住民をはじめ、地域の関係機関・団体、サービス事業者等が地域福祉を担う主体として互いに連携し、それぞれの役割を果たしながら、協働して計画の推進を図ることが重要です。特にその活動を支える福祉人材の確保と育成等の取り組みが求められます。そのような中で民生委員・児童委員の人員確保は、地域福祉を考える上で重要でありますので関係機関一丸となって取り組んでもらいたい。
- 2 住民主体、住民参加の福祉活動を進めていく事が大切である。特に災害時対応を前提とする活動には、地域のつながりが重要な要素である。同時に日常における地域ボランティア活動などの取り組みが分かりづらい状況もあることから、地域福祉に関する関係機関とより一層の連携が必要である。
- 3 これまでのコロナ禍を踏まえた生活様式の変化や、新たな福祉課題を踏まえた施策の展開を関係機関と連携のもと充実・強化すること。